

Nフレンズ ―サマーフェスタ 2018― を開催しました

7月22日(日)、東京都内、神奈川県内の私立中学校にてNフレンズを開催しました。

Nフレンズは日能研で学び進み、中高一貫校に進学した卒業生と、いま日能研で学んでいる子どもたちが対話できるイベントです。

毎年、Nフレンズでの出会いがきっかけで志望校が決まった！という声が子ども達から聞かれるほど、子ども達にとっても日能研にとっても大きなイベントです。

Nフレンズ当日は、開催時間のずっと前に卒業生は集合し、自分が進学した学校の紹介をするために、また自分が日能研で学んできたことを話すために、準備を始めます。

制服の着用はもちろん、授業で使っている教科書やノートなどを持ってくる卒業生、黒板にカラフルに校章を描く卒業生、学校からポスターを持参し、入念に飾りつけをする卒業生・・・

各々が自分たちの学校の魅力を伝えるために工夫しながらブースをつくりあげていました。

そして、自分達がそうだったように、いま日能研で学んでいる子どもたちの参考になれば・・・と、日能研で学んでいた時に使っていたノートやテキストなどをブースに置いている卒業生もいます。そのような光景を見ていると、こうやって卒業生の想いと日能研生の想いが重なって、その先につながっていくんだなあそこらの胸が熱くなります。

一方、いま日能研で学んでいる子どもたちは――

「志望校が決まったきっかけは？」「苦手な科目を先輩たちはどうやって乗り越えたんだろう？」「入りたい部活があるけど、実際入ってみるとどんな感じなのかな？」「あんな先輩になりたいな！」などなど・・・

自分で事前に聞きたいことを準備してきたんだろうな、と思える子もいれば、色々聞きたいと思っていても、いざ先輩の目の前に座ると、緊張してなかなか言葉が出てこない子など、様々な様子が見受けられました。また卒業生が「どこの校舎に通っているの？」と話しのきっかけを優しくつくってくれる場面もありました。

帰り道、憧れの先輩達との対話を通じて、目を輝かせて歩く日能研生。

「先輩と話してなんだかやる気がでた」「実は女子校って元気いっぱいいらしい・・・」「やっぱりサッカー部は楽しそうだった！」「自分もあんな先輩になりたい！」

今年も一回り成長した卒業生と日能研生の姿を見ることができました。